UTSUNOMIYA CONSTRUCTION WORKER'S

けんせつ宇都宮

【題字】 宇都宮市長 佐藤栄一 様

CONSTRUCTION
vol.304
2015

2015.9 栃木・茨城を襲った豪雨被害の復旧

『田川大橋下』宇都宮市石那田町 河川の被災状況

『古賀志町』土石流により道路が封鎖

一般社団法人 宇都宮建設業協会

優良建設工事表彰

平成27年度の栃木県優良建設工事並びに宇都宮市優良建設工事の表彰に伴い、当該工事を担当した現場代理人及び主任技術者に対して、去る平成27年10月28日、建設産業会館においてその功績と栄誉を称えた表彰式が行われた。（一社）宇都宮建設業協会からの表彰対象となった優良工事は以下のとおり。

栃木県知事表彰　4社
栃木県宇都宮土木事務所 所長表彰　4社
栃木県県土整備部建築課 課長表彰　1社
宇都宮市表彰　15社

◆栃木県知事表彰

- 宇都宮土建工業株式会社
  電線共同溝工事３・２・101 大通りその６（補助街路）
- 大幹建設株式会社
  道路改良工事３・３・１鹿沼宇都宮線その２（補助街路）
- 株式会社増渕組
  電線共同溝工事３・２・101 大通りその２（補助街路）
- 山本建設株式会社
  道路改良工事３・３・１鹿沼宇都宮線その３（補助街路）

受賞された方々のあいさつ

電線共同溝工事3･2･101大通りその2（補助街路）工事

株式会社増渕組　坂本　修

本工事は自転車走行環境整備も踏まえた『通称大谷街道』の栃木県教育会館前からＪＲ宇都宮駅方面への170m区間で、電線共同溝工と歩行者自転車通路整備工、管渠側溝工車道拡幅工事などを主とする工事でした。

工事着手前は歩道幅員も狭く、セットバックした際の住宅基礎などが点在しており、周辺には文教施設が集中していることから、通勤通学時には歩行者、自転車と路線バスや一般車などで混雑している状態でした。

まず、本工事の着手前に歩行者、自転車の安全通行帯を確保する必要があり、仮設歩道を整備して、一般車両と工事エリアとの分離を図りました。

また、乗入部の施工にあっては周辺地権者等の乗入口の確保に留意するとともに、店舗については営業の妨げにならないように十分に配慮することを考え、事前説明を行い、休業日の施工や作業時間の調整を行って施工に当たりました。

この度、近隣の皆様や関係機関などのご協力により県知事表彰を受賞することができ、感謝いたします。

道路改良工事3･3･1鹿沼宇都宮線その3（補助街路）工事

山本建設株式会社　麦倉　昌男

本工事は、東北自動車道鹿沼インターと宇都宮環状道路を結び、都市活動を支える重要な幹線道路のバイパス区間工事でした。

現道は、朝夕を中心に交通量が多く常に渋滞が発生し、また自動車と通学児童・自転車が錯綜しており早期完成が望まれました。このような背景の工事を担当させていただき光栄であり、大きな責任を感じました。

当現場の作業環境特性として現場内に規模の大きな心療内科病院があり、工事騒音の低減と第三者の安全確保が重要な課題となりました。

騒音対策として、低騒音仕様の建設機械の使用と共に病院側に防音シートを用いた遮音壁を設置し、騒音の低減を図りました。

コンクリート構造物取壊し等の特に騒音が発生する施工は、診察時間や休診日を考慮した作業工程を計画し、病院と打合せを行って互いに情報を共有し作業に当たりました。

第三者の安全対策としては、外来患者・病院関係者の安全な通路を確保するために、工事の進捗に応じた仮設迂回路を設置しました（付替え４回）。迂回路はすべてガードフェンスで覆い、夜間の視認性確保のため水銀灯を設置しました。迂回路設置計画に当たって通行者のモニタリングを行い、発注者及び病院と迂回の時期・期間を含め綿密に協議しました。

また、弱者に配慮した形状とし、緊急車両（大型消防車等）が走行できる幅員・線形にも配慮しました。

病院の目の前という条件ではありましたが、発注者・病院・施工者と互いに意思疎通が図れ、無事故・無災害で完工することができました。

最後になりますが、ご指導・ご協力いただいた関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。

◆栃木県宇都宮土木事務所 所長表彰

- アズマ原総業株式会社
  電線共同溝工事３・２・101 大通りその５（補助街路）
- 岩原産業株式会社
  排水施設工事藤原宇都宮線その３（快適道補）
- 株式会社津野田土木
  護岸工事武名瀬川その２（安全川補）
- 渡辺建設株式会社
  舗装工事 119 号その 13（快適道補）

◆栃木県県土整備部建築課 課長表彰

- 晋豊建設株式会社
  宇都宮高校特別教室棟１内外部・耐震改修工事

◆宇都宮市優良建設工事表彰

- 株式会社野澤實業
  区画道路橋梁築造工事
- 山本建設株式会社
  準用河川越戸川バイパス築造工事
- 渡辺建設株式会社
  グリーンタウン老朽管きょ改築・修繕工事第３号
- 米弥工業株式会社
  都市計画道路築造工事（分割１号）
- 株式会社菊地組
  準用河川大久保谷地川バイパス築造工事（第２工区）
- 晋豊建設株式会社
  橋梁維持修繕工事（金井田橋）
- 増渕・渡辺・興建・上陽建設 共同企業体
  清原中央小学校改築・耐震補強及び大規模改造工事
- 中村・日豊・岩村建設 工事共同企業体
  宇都宮市体育館耐震補強及び大規模改修工事
- 芳賀屋建設株式会社
  東小学校南校舎耐震補強及び大規模改造工事
- 大幹建設株式会社
  道路修繕工事（舗装修繕）
- 宇都宮土建工業株式会社
  舗装工事

準用河川大久保谷地川バイパス築造工事（第2工区）

株式会社菊地組　若杉　俊春

大久保谷地川は市街地を流れる河川であり、豪雨時などは慢性的な浸水被害が起きている河川で、かつ県道の整備計画に伴い、県道の雨水排水を現況河川に流入することが困難なことから、本工事は大久保谷地川バイパス改修事業の一部として市道1168号線道路下にボックスカルバートを敷設する工事でした。

新４号線から市街地へ抜ける道路として多数の車両が通行する道路を24時間通行止にして施工をするため、工期の短縮及び早期道路開放が一番重要と考え、安全管理とともに工程管理に重点をおいて工事を行いました。

当初、監督職員と打合せを行った時には３月末頃の道路開放の予定で、地元周辺の７つの自治会への挨拶から始まり、周辺住民・周辺企業に対し工事への協力・理解のため、工事のお知らせを持って一軒一軒説明して回りました。

工程はネットワーク工程表で作成し、最近手配の難しい生コンとポンプ車の手配に重点を置いて協力業社と打合せをしました。１ヶ月程度前に手配を行って、生コン打設に向け各工程を管理し、毎月の協議会では工程の説明とともに作業員の手配の打合せを協力業社と重ねて工事を進めた結果、工事もスムーズに進み、無事故で２月末に道路開放ができました。

工事を施工するに当たりご指導いただきました監督職員の皆様、ご協力いただきました地域の皆様には心より感謝申し上げます。

東小学校南校舎耐震補強及び大規模改造工事

芳賀屋建設株式会社　福富　和典

この度、宇都宮市から東小学校南校舎耐震補強及び大規模改造工事を発注していただき、宇都宮市の優良建設工事建築部門で市長賞をいただきまして喜ばしく思います。

工事に当たりまして、当作業所は東小学校校内での作業になり、校庭内に設ける工事ヤードへの進入門は通学の児童の動線及び教職員駐車場への経路とラップするため、作業員の通勤車両は７：30までに入場を完了させ、資材搬入出車両は８：30以降の入退場とし、登校する児童及び教職員との交錯の防止を徹底しました。

また、工事仮囲いゲート付近での工事車両との第三者災害を防止するため、センサー付パトライト及び音声案内を設置し、第三者災害も発生することなく工事を完成することができました。

最後に、ご指導いただきました監督職員の皆様、また地域の皆様、工事の完成に携わった協力業者の皆様のご協力により無事竣工を迎えることができましたこと、心より感謝申し上げます。

今後もこの受賞を励みとし、地域社会への貢献と安全第一を心掛け、社員一丸となり尚一層努力してまいりますので、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

「豪雨災害応急処置」迅速に対応

2015.9.9(水)〜11(金)

１か月にわたる長雨に続き、９月９日から10日にかけて県内を襲った台風18号に伴う豪雨は、50年に一度の記録的雨量を観測し県内各地に大きな傷跡を残した。

７日から10日にかけての降水量は日光市で634ミリ、鹿沼市で505ミリ、栃木市で415ミリとなり、９月平均降水量の２倍に達し、県内では初の大雨特別警報が出された。鬼怒川や黒川が氾濫し、多くの家屋が床上浸水になり人命も奪われた。

９月９日深夜に出動した会員企業は大雨の中、危険箇所を通行止めにした後、翌朝には通勤時の交通誘導などを支援した。

11日早朝より対策本部である宇建協に詰めた正・副会長は、河川情報システムや電話連絡を基に情報収集と緊急対応に追われた。また、同時に建設委員会メンバーが緊急待機し、会員企業への指示をしながら出動に備えた。

その後、崩壊した河川堤防に大型土嚢を積んだり、道路上の土砂を除けるなどの応急処置を急いだ。

（荒井）

愛リバーとちぎ

河川清掃活動

豪雨災害の後始末に汗

2015.9.30(水)

９月30日に「愛リバーとちぎ　河川清掃活動」を行いました。９月10日までの豪雨災害直後の河川清掃ということから、今回は田川の遊歩道の手すりに引っ掛かった木くずやゴミなどを取り除くことに活動を絞り作業しました。

協会会員に加え、宇都宮土木事務所から数名のご協力をいただき、担当する建設委員会メンバーを含め総勢約50名が作業に当たりました。

手すりにまとわりついた大量の枝や根っこ、ゴミを取り除く作業は容易ではなく、額に汗しながらの重労働になりました。その結果２ｔトラック２台分のゴミを回収し、ようやく市民が安心して散策できる遊歩道に戻りました。

引き続き、県民・市民の暮らしに役立つボランティアを続けてまいります。

（荒井）

平成27年度 建設業災害防止安全対策セミナー

澁谷監督署長

増渕分会長

「平成27年度建設業災害防止安全対策セミナー」並びに、宇都宮労働基準監督署管内『安全文化』推進運動！第５回「安全衛生『塾』」～墜落・転落災害防止大会～が建設業労働災害防止協会栃木県支部宇都宮分会主催の下、10月21日、とちぎ福祉プラザにて開催されました。分会員約120名が参加し、墜落・転落災害を中心とした三大災害の防止などを主とする決意表明を行い、安全衛生講話を受講しました。合わせて、労働災害を防ぐためのリフレッシュ体操も行われました。

（熊本）

宇都宮市
総合
防災訓練

「平成27年度総合防災訓練」

2015.8.22(土)

宇都宮市は８月22日、西が岡小学校で「平成27年度総合防災訓練」を開催した。

自衛隊や消防など各防災関係機関、市内の防災会など74団体、約2,500人が参加。

訓練は市北西部を震源とする震度７の直下地震が発生、建物が多く倒壊し、道路などのライフラインが被害を受けているという想定で実施された。

（一社）宇都宮建設業協会は、道路啓開作業に当たる国土交通省宇都宮国道事務所や宝木地区防災会・自治会・陸上自衛隊などとともに震災救出・障害物撤去連携訓練に参加。建設委員会の委員が中心となって倒壊した家屋をユニック車の荷台に収容する作業を手際よく進め、５分ほどの短時間で完了させた。

訓練終了後、佐藤宇都宮市長は「ライフライン関係者の本番さながらの訓練を心強く感じた。発生が予測される東南海トラフ地震への対応など、我々行政と皆さんとの連携はこれまで以上に重要となる」と講評した。

（関）

宇都宮
建設業
青年の会

愛の献血運動

2015.7.15(水)16(木)

国土交通記念デーの記念行事である「第51回栃木県建設展2015」が、今年も７月15、16日の２日間、マロニエプラザにて開催されました。

大展示場では７団体10企業が建設資材の展示などを行ったほか、小展示場では栃木県・宇都宮市による建築工事講習会や、建設特別講演会が行われ、２日間で延べ4,000名の来場者を集めて、盛況を呈しました。

また、会場入り口では、恒例となった宇都宮建設業青年の会ほか３団体による「愛の献血活動」が実施されました。当会の社会奉仕活動の一環として行われている当活動ですが、会員や参加者の方々への呼びかけにより、

今年も40名以上の方に協力していただきました。

献血にご協力いただきました皆様、並びに各関係団体の皆様に御礼申し上げます。

（亀和田）

安全パトロール

「年内無災害を目指して！」

2015.10.13(火)

10月13日に宇建協・建災防栃木県支部宇都宮分会の公開パトロールが実施されました。澁谷宇都宮労働基準監督署長をはじめ、発注者からは天尾県技術管理課副検査監、上野宇土木主査、浅田宇土木主査、高野宇都宮市検査室副検査監にご同行いただき、建災防安全指導者、店社安全管理責任者ほか、約50名が参加しました。

当日の朝礼で、集合したパトロール参加者に対し、竹内宇建協副会長が「労働災害防止のためには経験を重ねることが重要。今日のパトロールを契機に労働災害防止に取り組み、災害ゼロを目指してほしい」とあいさつ。続いて、澁谷署長が「残り３か月、絶対に死亡災害を起こさないように工事を行ってほしい」と述べられました。

パトロールは午前中に土木２現場、午後から土木１現場、建築２現場の巡視のあと、宇建協で講評という日程で行われました。

講評では、各現場とも概ね良好な安全確保の体制が構築されているとの評価でしたが、「リスクアセスメントを用いたＫＹ活動の実施」、「機械工具の日常点検整備の確実な実施」、「安全帯の点検を常に行い、墜落・転落災害防止に努める」等の更なる災害防止のための意見もあげられました。

現場の安全は、そこに携わる一人ひとりが高い安全意識をもつことが必須です。「絶対に災害を起こさない！」という強い決意をもち、日々の作業に当たりましょう！ご安全に！

（手塚）

REPORT

青年の会 活動報告

2015宇都宮城址まつり

2015.10.18(日)

宇都宮建設業青年の会では、宇都宮城址まつりにて毎年恒例の高所作業車体験ブースを設けました。今年も天気に恵まれた最高の城址まつりでした。

足場の組み立てなどの設営も慣れていなかったので戸惑いましたが、青年の会のメンバーが力を合わせ、無事に開始時間までに設営が完了できました。

今年の作業車は、例年では15m伸びるものに対し、12mと小さめのサイズでしたが、高い所が苦手な人にとってはちょうど良かったかもしれません。

昨年より多くのヘルメットを準備し、乗車の回転率を高めたため、一人で３回も乗っているお子さんもいました。

作業車が上がっていくのを見計らって、お城の上からシャッターチャンスを待つお母さんお父さんたちが多くいらっしゃいました。

子どもたちの笑顔のため、そして建設業界のイメージをより良くするために必要不可欠な事業だと感じました。

最後に、高所作業車の協賛協力をしてくださった西尾レントオール株式会社様、ヘルメットを協賛してくださった株式会社谷沢製作所様、ありがとうございました。

（増渕）

新社長紹介

大幹建設株式会社
代表取締役社長　**入江　誠**

日頃より宇都宮建設業協会の皆様には大変お世話になっております。また、この度はこうしたご挨拶の機会をいただき、誠にありがとうございます。

平成27年７月27日付で社長に就任いたしました大幹建設株式会社の入江誠と申します。社長の大役を仰せつかり、その責任の重さに身の引き締まる思いをいたしております。

弊社は、昭和25年の創業以来、宇都宮建設業協会様をはじめ、各官公庁様、地域の皆様など、多くのお客様からのご愛顧、ご支援に支えられ、65周年を迎えさせていただくことができました。

私ども地方の建設会社に求められている社会的責任は、市民の「安心と安全」を守るための社会資本整備の推進及び協力が最も重要であると考えております。また、東日本大震災以降、防災意識の高揚や社会資本整備に対する考え方が見直される中、有事の際にその責任を果たせるよう国土交通省の認定するBCPの認定取得などに取り組んできました。そして、高校生インターンシップの受け入れ、地域の清掃活動、交通安全運動等に積極的に参加することや、その活動を継続することが社会に貢献できる企業としての役割であると考えております。

現状、我々建設業界には、なお解決すべき課題が山積している状況ではありますが、会員企業の皆様と一緒に、建設業が夢のある産業として着実に再生することを目指していきたいと思っております。

甚だ微力ではありますが誠心誠意職務に精励してまいる所存でございますので、何卒、前任者同様格別のご愛顧、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

山本建設株式会社
代表取締役社長　**菊池 祥一**

６月１日より前任の菊池茂に代わりまして社長に就任いたしました菊池祥一でございます。なにぶん若輩者でございますので、前社長同様のご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

弊社は昭和23年、県内舗装工事のパイオニアとして創業し、以来、建設技術の研鑽に全力を捧げてまいりました。技術という一本の軸を常に意識し取り組んでまいりました結果、『ヤマケンさん』と地域の皆様にお声掛けいただくことも多く、誠にありがたいと感じる次第でございます。

近年の我が国経済は、政府による経済対策や日銀による金融緩和政策を背景に緩やかな回復の動きが見られます。また、建設業界においては、公共投資は復興需要、オリンピック需要により堅調に推移し、民間投資においても緩やかな回復基調が見られるものの、足下では、少子高齢化に伴う技能労働者の急速な減少、資材価格の高騰等、問題は山積しており、我々の経営環境はいまだ予断を許さない状況であります。

このような中で、私たち建設業者は『地域の人々の暮らしの安心、安全を守っている』という使命感と誇りをもって日々仕事をしておりますが、これまでなかなか光が当たらない時代が長く続いてまいりました。この流れが大震災の発災以降、徐々に変化しつつあるように感じます。人々の生活の源であるライフラインを守るのも、日々の物流を支えるのも、災害などの有事の際は救援部隊に先駆けて出動し応急復旧を行うのも我々であるという自信と誇りを再認識し、業界の発展に努力してまいる所存でございますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

労働保険適用促進強化期間 11/1～11/30

『１人でも雇ったら、入ろう。労働保険。』

労働者が安心して働けるよう「労働保険（労災保険・雇用保険）」の加入手続をされていない事業主の方は、労働基準監督署又は公共職業安定所で加入手続をしてください。

詳しくは、最寄りの労働基準監督署又は公共職業安定所にお尋ねください。

栃木労働局総務部労働保険徴収室
TEL 028－634－9113

宇建協親睦研修旅行

『四城巡りと路面電車視察』 2015.10/22～24

今回は、10月22日から24日まで愛媛県松山市方面に出掛けてきました。

愛媛県では松山城・宇和島城・大洲城、そして帰路、香川県では丸亀城を巡り、その歴史と当時の建設技術に思いを馳せてきました。戦国時代から27年かけて築造された松山城は戦うための城で、銃砲を構える狭間の多さに驚かされます。松山城・丸亀城ともに空に伸びるほど高く積まれた石垣は圧巻で建設技術の高さに脱帽です。

高台にあるそれぞれの天守に辿りつくまでには足が攣りそうになっていた方もいましたが、道後温泉で癒され、名物の鯛そうめんやPOMジュースで英気が養われたようです。

また、松山市内を走る路面列車の姿に宇都宮を走るLRTを重ねてあれこれ考えてもみました。

当協会の研修旅行でいくつの城を旅しただろうか？名城制覇に向けて来年も城巡りになりそうです。

（荒井）

編集後記

去る９月９日から10日にかけて、栃木県および茨城県を広域水害が襲った。先ごろの栃木県の発表ではその被害額は312億円を超えており、まだ土砂災害などの被害額が含まれていないため、今後さらに増える可能性があるという。栃木県は栃木市、日光市、小山市、鹿沼市に対して「被災者生活再建支援法」を適用し、可能な限り早期で復旧を完了すべく対応している。

我々（一社）宇都宮建設業協会会員企業も災害発生と同時に災害箇所の応急対応や復旧作業に迅速に対応して、被害の拡大防止に努め、地域社会に対して大きな貢献ができたものと自負している。被害に遭われた皆さんに対して心からお見舞い申し上げるとともに、建設業に携わる者として一日も早い復旧に今後とも尽力していきたいと考えている。

さて「けんせつ宇都宮304号」が発刊された。本号の記事にあるとおり、本年度の栃木県および宇都宮市の優良工事表彰がされたところであるが、栃木県知事表彰で100%（宇都宮土木事務所管内受賞企業中）、栃木県宇都宮土木事務所所長表彰等で80.0%、宇都宮市優良建設工事表彰で83.3%を（一社）宇都宮建設業協会の会員企業で受賞することができた。我々会員企業の優良な施工技術を証明する一端であるのではないかと思っている。今後ますます研鑽を重ね、よりよい社会資本整備に貢献できるように努力を惜しまない所存である。

（岩原）

けんせつ 宇都宮
■1981年７月創刊
■2015年11月10日発行
■発　行：一般社団法人宇都宮建設業協会
■会　長：増渕　薫
■編　集：総務委員長　荒井　学
■ＴＥＬ：028－636－5221
■ＵＲＬ：http://www.ukenkyo.org/
■E-mail：ukenkyo@ukenkyo.org
■印刷所：藤崎印刷株式会社
■ＴＥＬ：028－633－4530
■E-mail：info@fujisaki-p.jp